



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月4日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 9845 URL https://www.parkercorp.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	19,400	△23.6	437	△75.4	437	△76.1	132	△89.0
2020年3月期第2四半期	25,377	1.1	1,781	△6.5	1,829	△11.8	1,198	△15.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △25百万円 (－%) 2020年3月期第2四半期 685百万円 (△2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	5.15	—
2020年3月期第2四半期	46.59	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	49,242	32,493	60.8
2020年3月期	51,246	32,787	59.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 29,940百万円 2020年3月期 30,232百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
2021年3月期	—	3.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	6.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△17.3	1,500	△56.2	1,700	△52.5	1,000	△60.2	39.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	26,801,452株	2020年3月期	26,801,452株
2021年3月期2Q	1,194,271株	2020年3月期	1,116,143株
2021年3月期2Q	25,618,354株	2020年3月期2Q	25,713,127株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンド需要の減少や世界経済の下振れを背景に輸出が大幅に減少したほか、国内家計の消費活動も大幅に低下しました。緊急事態宣言解除後の経済活動再開と外出自粛緩和の影響もあり、持ち直しの兆しも見られたものの、感染症の動向等の不安要素は引き続き大きく、先行きが不透明な状況で推移しました。世界経済におきましても米国においては、個人消費や輸出の増加に後押しされ、景気の回復が緩やかに進み、中国においては、内需や輸出を中心に経済活動再開後の回復が持続しましたが、欧州では新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が再び増加傾向にあり先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、従業員の感染予防対策に努めると共に、時差出社や在宅勤務の導入、出張や会合の自粛、職場における「三密」の回避などの対策を講じながら、コロナ禍においても事業活動を維持すべく、制限された状況下で営業活動を行ってまいりました。

またこれらの変化や需要を的確に捉え、将来を見据えた幅広い視野を持ち、高い付加価値が込められた製品を提案すること、そのような付加価値を創出する「コト作り」に注力した製品開発に繋げ、更に高いレベルでの技術サービスの提供とグローバル化を推進し、持続的な成長と顧客の信頼を獲得するよう努めてまいりましたが、当社グループの主力の取引先である自動車業界や電気・電子部品業界におきましても新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、生産活動再開により徐々に回復が見られたものの、前第2四半期連結累計期間には及ばず、需要は低調に推移しました。

この結果、当社グループの第2四半期の連結業績は、売上高は19,400百万円（前年同期比23.6%減）、営業利益は437百万円（同75.4%減）、経常利益は437百万円（同76.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は132百万円（同89.0%減）となりました。

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

## ・機械部門

主力の国内外向け自動車業界向け設備及び製粉機械の販売は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う海外のロックダウンの影響による客先開発車種の遅れや設備検収の遅延等により、減収減益となりました。

当部門の売上高は1,362百万円（同19.4%減）、営業利益は61百万円（同49.6%減）となりました。

## ・化成品部門

自動車業界向けの製造販売は、新型コロナウイルス感染症の影響による国内における自動車生産台数の減少が大きく、中国では需要の回復がみられたものの、減収減益となりました。

当部門の売上高は6,264百万円（同23.5%減）、営業利益は176百万円（同65.0%減）となりました。

## ・化学品部門

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売並びに輸出関連の販売は、コロナ禍による工場の操業停止の影響によるケミカルの使用量の減少と輸出用ケミカル及び研磨剤の販売減少と前年同期にありました大型設備の受注がなかったことにより減収減益となりました。

当部門の売上高は2,418百万円（同31.4%減）となり、営業損失は39百万円（前年同期の営業利益は178百万円）となりました。

## ・産業用素材部門

自動車用防音材は、国内では主要自動車メーカーの工場操業停止により大幅に減収となりました。家電用防音材の製造販売は中国や新興国において外出自粛や移動制限による経済活動の停滞から減収となりました。また構造改革による費用の増加等により赤字額が増加したことにより、減収減益となりました。

当部門の売上高は6,370百万円（同27.0%減）となり、営業損失は58百万円（前年同期の営業利益は634百万円）となりました。

## ・化工品部門

国内外のファインケミカルの製造販売は「5G」関連需要の高まりを背景に好調に推移しましたが、国内カーケアケミカルは、外出自粛は解除されたものの、消費マインドの回復基調は鈍く、増収減益となりました。

当部門の売上高は2,097百万円（同3.6%増）となり、営業利益は214百万円（同7.7%減）となりました。

## ・その他部門

中国とロシア貿易の輸出入は営業活動が一部では再開されましたが、前期において不動産事業の売却により減収減益となりました。

当部門の売上高は886百万円（同27.4%減）となり、営業利益は83百万円（同25.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①当期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,004百万円減少し、49,242百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加（410百万円）、保有株式の時価の上昇による投資有価証券の増加（237百万円）がありましたが、売上高減少に伴う受取手形及び売掛金の減少（1,860百万円）によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,709百万円減少し、16,749百万円となりました。主な要因は、新規リース契約に伴うリース債務の増加（437百万円）、繰延税金負債の増加（114百万円）がありましたが、支払手形及び買掛金の減少（1,615百万円）によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ294百万円減少し、32,493百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加（147百万円）がありましたが、利益剰余金の減少（88百万円）、為替換算調整勘定の減少（320百万円）によるものです。

## ②当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結会計期間末に比べ、2,027百万円の増加の12,128百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益430百万円（前年同期は1,799百万円）、売上債権の減少1,740百万円（前年同期は202百万円の減少）、たな卸資産の減少285百万円（前年同期は66百万円の増加）、仕入債務の減少1,430百万円（前年同期は1,193百万円の減少）、法人税等の支払額196百万円（前年同期は517百万円）等により、1,347百万円の収入（前年同期は865百万円の収入）となりました。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、自動車用国内製造設備等による有形固定資産の取得による支出434百万円（前年同期は1,000百万円）、関係会社出資金の払込による支出217百万円（前年同期は67百万円）等により、647百万円の支出（前年同期は1,051百万円の支出）となりました。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額による支出73百万円（前年同期は200百万円の支出）、配当金の支払166百万円（前年同期は167百万円）、セール・アンド・リースバックによる収入489百万円（前年同期は該当なし）等により、55百万円の収入（前年同期は806百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月3日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,061	12,472
受取手形及び売掛金	11,743	9,883
商品及び製品	3,191	2,871
仕掛品	365	342
原材料及び貯蔵品	1,423	1,368
その他	1,033	1,011
貸倒引当金	△8	△11
流動資産合計	29,811	27,938
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,864	9,056
減価償却累計額	△5,374	△5,482
建物及び構築物(純額)	3,490	3,573
機械装置及び運搬具	7,884	7,776
減価償却累計額	△5,865	△5,972
機械装置及び運搬具(純額)	2,019	1,803
土地	6,236	6,213
リース資産	561	940
減価償却累計額	△317	△303
リース資産(純額)	243	637
建設仮勘定	1,022	387
その他	3,723	3,733
減価償却累計額	△3,123	△3,140
その他(純額)	600	593
有形固定資産合計	13,613	13,209
無形固定資産		
借地権	115	111
その他	436	393
無形固定資産合計	552	505
投資その他の資産		
投資有価証券	5,219	5,457
長期貸付金	412	403
繰延税金資産	243	242
その他	1,481	1,576
貸倒引当金	△88	△89
投資その他の資産合計	7,269	7,590
固定資産合計	21,435	21,304
資産合計	51,246	49,242

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,350	5,734
短期借入金	2,326	2,202
1年内返済予定の長期借入金	909	909
リース債務	137	193
未払法人税等	451	416
賞与引当金	743	708
その他	1,802	1,366
流動負債合計	13,721	11,530
固定負債		
長期借入金	1,538	1,500
リース債務	126	507
繰延税金負債	1,216	1,330
役員退職慰労引当金	126	116
退職給付に係る負債	1,656	1,692
資産除去債務	16	17
その他	56	53
固定負債合計	4,737	5,219
負債合計	18,459	16,749
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,477	2,477
利益剰余金	23,272	23,183
自己株式	△318	△349
株主資本合計	27,632	27,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,663	2,810
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△62	△382
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	2,600	2,427
非支配株主持分	2,554	2,552
純資産合計	32,787	32,493
負債純資産合計	51,246	49,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	25,377	19,400
売上原価	19,048	14,876
売上総利益	6,329	4,523
販売費及び一般管理費	4,547	4,085
営業利益	1,781	437
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	43	42
持分法による投資利益	41	—
助成金収入	—	71
その他	42	57
営業外収益合計	148	193
営業外費用		
支払利息	19	16
為替差損	68	129
持分法による投資損失	—	8
その他	13	37
営業外費用合計	101	193
経常利益	1,829	437
特別利益		
固定資産売却益	3	6
特別利益合計	3	6
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	31	1
投資有価証券評価損	—	13
特別損失合計	33	14
税金等調整前四半期純利益	1,799	430
法人税、住民税及び事業税	443	169
法人税等調整額	△4	29
法人税等合計	439	199
四半期純利益	1,360	230
非支配株主に帰属する四半期純利益	162	98
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,198	132

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,360	230
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△371	194
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	△153	△380
退職給付に係る調整額	△0	0
持分法適用会社に対する持分相当額	△147	△70
その他の包括利益合計	△675	△256
四半期包括利益	685	△25
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	524	△40
非支配株主に係る四半期包括利益	160	15

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,799	430
減価償却費	624	639
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	△33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36	38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△41	△9
受取利息及び受取配当金	△64	△64
支払利息	19	16
持分法による投資損益(△は益)	△41	8
投資有価証券評価損益(△は益)	—	13
有形固定資産除却損	31	1
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△6
為替差損益(△は益)	13	45
売上債権の増減額(△は増加)	202	1,740
たな卸資産の増減額(△は増加)	△66	285
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,193	△1,430
その他	30	△186
小計	1,332	1,492
利息及び配当金の受取額	66	69
利息の支払額	△16	△18
法人税等の支払額	△517	△196
営業活動によるキャッシュ・フロー	865	1,347
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,000	△434
有形固定資産の売却による収入	29	44
無形固定資産の取得による支出	△15	△16
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	—	1
長期貸付金の回収による収入	1	1
関係会社出資金の払込による支出	△67	△217
定期預金の増減額(△は増加)	—	115
その他	4	△137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△647

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△73
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△116	△112
長期借入れによる収入	400	—
長期借入金の返済による支出	△705	△33
自己株式の取得による支出	—	△31
配当金の支払額	△167	△166
非支配株主への配当金の支払額	△16	△17
セール・アンド・リースバックによる収入	—	489
財務活動によるキャッシュ・フロー	△806	55
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	△215
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,036	539
現金及び現金同等物の期首残高	11,137	11,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,101	12,128

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、当社グループは従業員の感染予防対策を実施した上で事業活動を継続しております。

当第2四半期連結累計期間においても本感染症の影響を業績に大きく受けております。今後も本感染症は感染状況を踏まえ、社会・経済に影響を及ぼすことが予想されます。当該状況による影響は当連結会計年度以後においても一定期間にわたり継続すると仮定しておりますが、生産活動再開により徐々に状況は回復すると想定しております。繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損の判定等の会計上の見積りにつきましてはこの想定に基づき行っております。

なお、2020年3月末に実施した見積りから重要な変更は行っておりません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,690	8,189	3,527	8,725	2,025	24,156	1,221	25,377	—	25,377
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	74	50	3	1	143	427	571	△571	—
計	1,703	8,264	3,577	8,728	2,026	24,300	1,649	25,949	△571	25,377
セグメント利益又は損失 (△)	122	503	178	634	232	1,670	111	1,781	—	1,781

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,362	6,264	2,418	6,370	2,097	18,513	886	19,400	—	19,400
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	77	21	3	0	107	308	415	△415	—
計	1,367	6,342	2,440	6,373	2,097	18,620	1,194	19,815	△415	19,400
セグメント利益又は損失 (△)	61	176	△39	△58	214	354	83	437	—	437

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。